

上顎洞底挙上術のコンセンサス、難易度分類、トラブルシューティング

Consensus, Difficulty Classification and Troubleshooting of Maxillary Sinus Floor Elevation



Toshiro Sugai

菅井 敏郎

医療法人UC会銀座UCデンタルインプラントセンター

上顎洞底挙上術に関して1980年から数多くの肯定的な論文が報告されており、AO コンセンサス会議やITI コンセンサス会議等においても造成部位のインプラント残存率は既存骨に埋入したインプラント残存率と同等であることやインプラント治療のための骨造成法として予知性の高い手法であるとのコンセンサスが得られている。

一方、上顎洞底挙上術の普及に伴い、上顎洞関連のトラブルが増加していることは周知の事実である。そしてトラブルの一因として、術者が手術の難易度を把握せず、かつ十分な知識とスキルを習得しないまま安易に手術を行うことが懸念されている。

そこで本講演では、上顎洞底挙上術のコンセンサスを再確認した上で、初心者でも使用しやすいCT画像分析による上顎洞底挙上術の難易度分類(ST分類)を紹介するとともに、難易度を基にして上顎洞底挙上術の安全性と確実性を向上させるための手術手技に関して詳細に解説する。さらに、演者の35年に渡る上顎洞底挙上術の臨床経験から、演者が経験した上顎洞関連のトラブル例を提示しながら様々なトラブルへの対処法や回避法について解説を加える。

参考文献

菅井敏郎監著. サイナスフロアエレベーションアルティメットガイド. 東京:クインテッセンス出版, 2023.

【略歴】

- 1978年 松本歯科大学卒業、大阪大学口腔外科学第一講座医員
- 1986年 インディアナ大学顎顔面奇形チーム客員研究員
- 1990年 UCLA 口腔顔面インプラントセンター臨床外科フェロー
- 1992年 UCLA 顎顔面クリニック客員准教授
- 1998年 医療法人UC会理事長
- 2002年 東京医科歯科大学インプラント外来臨床教授
- 2022年 松本歯科大学臨床教授

【所属学会】

- 日本顎顔面インプラント学会 名誉会員・指導医
- 日本口腔インプラント学会 専門医・指導医
- 日本顎咬合学会 指導医
- 日本アンチエイジング歯科学会 理事
- ジャパンオーラルヘルス学会 理事
- ICD 国際歯科学士会 常任理事